

授業科目 解剖学

【担当教員名】  阿部 薫		対象学年	1	対象学科	義肢
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎					
【概要・一般目標：G10】 身体構造の概要を学び、特に運動器の名称と構造、および形態を理解する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 基本的な解剖学用語を説明できる。 2. 体表解剖の概要を説明できる。 3. 骨・関節、筋、血管、リンパ系の概要を説明できる。 4. 神経系および神経支配の概要を説明できる。 5. 四肢・体幹の骨、関節、靭帯について説明できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	解剖学総論（解剖学用語、系統発生と個体発生）			1	講義
2	解剖学総論（人体の概観、体表解剖、ランドマーク、基準線）			2	講義
3	解剖学総論（骨・関節、筋）			3	講義
4	解剖学総論（血管、リンパ系とリンパ管）			3	講義
5	神経解剖学総論（中枢神経系、末梢神経系、自律神経系）			4	講義
6	神経解剖学総論（脊髄分節、感覚神経支配、運動神経支配）			4	講義
7	体幹（骨、関節、靭帯）1			5	講義
8	体幹（骨、関節、靭帯）2			5	講義
9	体幹（骨、関節、靭帯）3			5	講義
10	上肢（骨、関節、靭帯）1			5	講義
11	上肢（骨、関節、靭帯）2			5	講義
12	上肢（骨、関節、靭帯）3			5	講義
13	下肢（骨、関節、靭帯）1			5	講義
14	下肢（骨、関節、靭帯）2			5	講義
15	下肢（骨、関節、靭帯）3			5	講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		プロメテウス解剖学アトラス（解剖学総論／運動器系）第2版	ミハエル・シュンケほか	医学書院	2011・12,000円＋税・ISBN：9784260010689
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 出席状況、小テスト、最終試験			【履修上の留意点】 医学系学習の基本となる重要な分野のため、繰り返し復習し理解に努めること。		